

有峰ハウス「宿泊限定イベント」

令和4年（2022）10月29日

星空観察会 15センチ天体望遠鏡で 生の星空を体験

今年（令和4年）有峰ハウスの宿泊者対象の企画です。今年8回目のリクエストで今回は晴天に恵まれました。

19時15分からVC前で望遠鏡を木星を見ながらセットし調整を済ませました。

19時30分イベントのスタート。今回は京都在住の女性と魚津市在住のこの女性の母と姉の3名です。

開始直前に曇ってしまったため、ビジターセンターの65インチTVで有峰で写した星空を見てもらいます。



有峰での星空のタイムラプス映像を見ていただいている間に時々外の様子を確認します。

20時頃になると西の空から星空広がってきたので、ビジターセンター前にセットした望遠鏡に移動します。

まずは雲の切れ間からのぞいたスバル（M45）見て、望遠鏡では肉眼とちがう星の数を数えます。

次に見え始めた木星に向きを変え、木星のシマシマを見てもらいます。そして真打の土星も見えてきました。

初めて実際に見る土星の環に感激です。気流の状態もまずまずで170倍でもさほど揺れずに見えました。

その頃には天の川も姿を現し、織姫星と彦星が天の川を挟んで見えていること。夏の大三角のもうひとつの星

はくちょう座のデネブを確認してもらいました。はくちょう座は天の川の上を飛んでいる姿であること

このはくちょう座は、北十字でもあること、そしてそのくちばしの星はきれいな二重星であることをお伝えし

望遠鏡でオレンジ色と青色のアルビレオを見てもらいました。

21時になったところで今回の観察会は終了となりました。

今回は映像と実視の星空両方を体験いただき有峰の星空を堪能いただけました。

参加者から「有峰で泊まって良かった。また別の季節にきたい」とコメントいただきました。



#望遠鏡は接眼レボルバーで、40倍・80倍・170倍に瞬時に切り替えます。

天の川と夏の三角形が見えます。

土星を見ています。
このあとアンドロメダ銀河もみました。

はくちょう座のアルビレオ（オレンジと青色の二重星）を眺めています。

